



6年ぶり「練習艦 かとり」入港

7月15日海上自衛隊練習艦「かとり」(4050トン)が6年ぶりにサントス港へ入港した。

同日夕、東郷司令官、石田総領事招待による艦上レプションに千田会長夫妻も招かれた。総勢200名位で招待者と隊員との懇談交流が行われた。

同艦小林磨首席幕僚(20年程前に実習幹部で参加し、今年2月には事前調査にも当地を訪問、種市町出身)や他乗員とも懇談した。



小林 磨 首席幕僚

16日は各県に別れ半艦上陸、コリア団体共催歓迎式典が文化協会で行われた後、各県人会に迎えられ歓迎会や市中案内などが行われた。多い所では広島26名、長崎24名などの隊員を迎えた。

17日岩手出身者も6名(長崎出身の艦広報カメラマンも加わる)が上陸で、文協での歓迎式典に県人会から数名が出席、その後県人会へ案内し歓迎会が行われた。(出席者約60名位)

歓迎会は軍艦マーチで隊員を迎え、千田会長、小林首席幕僚(一等海佐)、田口長老などの挨拶に続き、記念品の交換が行われ、菊地名誉会長の音頭で昼食を取りながら懇談会が行われた。

昼食は会員の持寄りに、刺身や肉料理、金宝丸よりの蟹、蟹スープなども加えられた。



小林さんの話では、アルゼンチンでも幹部が合同の歓迎会に招かれアルゼンチン岩手県人会渡辺会長とも懇談出来た由。移住者の皆さんが異国の地で活躍していることに感激、訓練の励みにもなり頑張りたい。また現在日本では見失いつつある日本人の姿勢が大事に伝承されている事に感銘したと語っていた。

小林さん初め隊員の多くは、夕刻行われるサントス日本人会の歓迎会の為帰艦。佐々木士長が残れたので、ガ・ブエノ街を案内したり、意見交換などを行い他県乗員と共に午後9時過ぎサントスへ帰艦。

尚リオに寄港した「ゆうぎり」「あさぎり」には6名の県出身者がおり、レシエフェ寄港の際乗員県人が一同に会したとの話。「かとり」は多くの懐かしさと交流の成果を土産に19日午前9時頃出航。艦隊は訓練を行いながら9月中旬日本に着くと言う事です。Boa Viagem

※ 愛知県と宮崎県の女性隊員が日本へ電話をしたいが何処でかけたらとの問いに、会館事務所へ案内。それぞれの故郷へ無事の連絡を入れていた。小さな心遣いに隊員は大変喜んでいた

ゼンコーさん逝く (元首相)



元首相「鈴木善幸さん」山田町出身(自民党最高顧問)は7月19日93歳で逝去。

鈴木さんは1980年7月岩手出身5人目の首相で第70代内閣総理大臣に就任。90年1月引退するまで43年間衆議院議員を務め、「和の政治」を掲げて戦後政治に大きな跡を残した。

氏に大きな跡を残した。

氏は60年郵政相で初入閣、官房長官、厚相、総務会長を10期、農相、80年7月大平首相の急死で第10代総裁に選ばれ第70代首相に就任した。

89年後継者に長男の俊一氏(衆議員)に譲り政界引退を表明した。

県人会では県国際交流協会に密葬が行われる東京へ弔電を依頼。また故郷山田町の賛助会員松本夫妻を通して弔電をおくり故人の冥福を祈った。

日本まつりに45万人

7月23日24日25日と州議会広場で、第7回日本まつり(Festival do Japao)が、ブラジル都道府県人会連合会主催で開催。好天の中3日間の入場者は45万人の人出と主催者側の発表であった。

今年はパラグアイに次ぐアルゼンチンからも参加食の出店は37県と慈善団体など、芸能は17県。他芸能団体、日本から井上祐見、中平マリコ両歌手が特別出演した。岩手は芸能に県人会の「太鼓」で

腕を磨いている「御太鼓グループ」が出演した。

祭りのテーマは「侍」会場も7つの広場（友好、文化、緑、環境、食、ショー、夢）に区分け設置された。また子供コーナーも特設され子供たちにおとぎ話の絵本を見せ、感じた絵を描いたり、金ヶ崎町の複数の小学校から送られた図画、習字などが展示された。



県人会では、食に餅、餅料理数種、芸能に太鼓演奏と子供コーナーでの書画を提供。（昨年は花巻市児童の書画を展示）食は熟年者、婦人部、青年部に若い人達のボランティアの協力を得て、忙しくも和気藹々と行われ新しい交流も得られた。餅は6月の餅まつの評判も加わり、搗きたての餅をと長蛇の列も出来てきてご舞いでした。

ブラジル交流協会から研修員で来ている大東町出身の金谷ハナエさんも初対面にもかかわらず県人会ブースを手伝ってくれた。（県人会に仲間入りしたいと話していた）また旅行中？の林信幸夫妻（二戸出身で大阪在、コミュニティ代表取締役会長）もわざわざ訪ねてくれた。



フェスティバルには10月に選挙が行われるサンパウロ市長、市議候補なども挨拶に。セラ保健相やクワジ・オリホ州副知事は雑煮を賞味、マルタ市長は餅搗きを体験した。

フェスティバルは日本文化や食、芸能を通して日系人には団結心と協力を、ブラジル人には日系人の底力を見せつけたとも言えるイベントであった。

おわりに最後まで県人会ブースを手伝って頂いた方々、また県人会ブースを訪れ頑張ってくださいと激励頂いた人々に心から有難うと感謝の意を表します。



お知らせ

先に会員皆様へお知らせ致しておりますが、改めて行事の案内を致します。

☆ 第26回高齢者 懇親会・誕生日会

日時 2004年8月15日(日) 午前11時より
県人会会館にて行われます。

- ※ 会員皆様の持ち寄りをお願い致します。
- ※ 当日は、JICA派遣ボランティア及川さおりさんの「三味線演奏」をお願い致しております。
- ※ ご家族揃って参加をお願い致します。

☆ キロンボ温泉親睦旅行 へのご案内(2泊3日)

- ※ 2004年9月21日(火曜日) 午前8時
ラルゴダポルボラ前より出発。
- ※ 帰りー9月23日(木曜日) 午後6時予定。
- ※ 費用ー普通料金 220レアイス
- ※ 会員70歳以上の方々には会より補助(80レアイス)があります。(費用に含まれるものはバス代、温泉宿泊、往時の弁当、ビンゴ賞品、旅行保険など) ☆ 希望者は早めにドキュメント番号を添えてお申し込み下さい。

☆ 2005年度県費留学生 技術研修生募集

- ☆ 応募資格 県人子弟のみ
- ☆ 留学生の修学分野は、看護、社会福祉、総合政策(法学、経済学、行政)、ソフトウエア、農学、工学、その他となっております。
- ☆ 技術研修員の研修分野は、稲作、畜産、園芸、林業、農業機械、漁業、電子工学、医療など。
- ☆ 希望者は至急8月23日迄に県人会へお申し込み下さい。 ※ 尚、06年、07年度希望者がありましたらご一報下さい。

- ☆ 第21回東北親睦演芸祭は、10月10日(日) 北海道交流センターにて行われます。

賛助会員紹介(6)

第22号 高橋 量平 (Ryohei Takahashi) 56歳
公務員(現在県国際交流協会勤務)、盛岡市在(本籍地 湯田町)、入会理由は貴県人会との交流、活動支援です。ブラジル訪問は1998年6月に県人会40周年式典に増田知事一行に同行出席。またいつかブラジルを訪問したいと思っております。

会員(A) 1口

e-mail: takaryou@sea.plala.dr.jp

第23号 有住 辰志 (Tatsushi Arisumi) 64歳
定年退職 胆沢郡金ヶ崎町在 入会理由 県人会を支援し交流を行いたい。氏は金ヶ崎町国際交流協会会員で町の国際交流に励んでいる。ブラジル訪問は昭和53年平成10年(県人会20周年、40周年)

次回創立式典に訪問したいと準備中。(45周年は体調不良で不参加) 会員(A)(B)と1口加入

有住氏の祖父(権作)は昭和9年に一家8名と、及川安平家族、渡辺栄喜家族、小関熊之助家族と共にブラジルへ移住し4年ほどで帰国している。

氏は定年退職後、祖父母のブラジル渡航記念の写真などが見つかった事からブラジルへの関心と呼び「国際交流の先駆者 及川安平伝」「ブラジル移住の記録 拓魂」「ブラジル移住の思いで」と資料や協力を基にブラジル紹介の本を自費出版している。

第24号 高橋 薫 (Kaoru Takahashi) 63歳
会社役員 金ヶ崎三ヶ尻在、入会理由一有住氏と同級生でもあり紹介された。ブラジル訪問1992年。会員(A)と(B) 1口

第25号 及川 光夫 (Mitsuo Oikawa) 66歳
農業、金ヶ崎三ヶ尻在、元町教育長、入会理由一親族がいる。故及川安平の実家で一族がいる。会員(A)と(B) 1口

第26号 松本 光夫 (Mitsuo Matsumoto) 52歳
金ヶ崎町水沢大谷地在、入会理由一松本福蔵、幸一末治の留守家族でもあり親戚と再度会いたい。会員(A) 1口

第27号 佐藤 節夫 (Setsuo Satou) 77歳
農業 金ヶ崎町西根在 佐藤 武氏の長男 入会理由一父の姉2人の家族がいる。ブラジル訪問 2003年県人会45周年に出席。会員(A) 1口

第28号 高橋 嘉吉 (Kakichi Takahashi) 74歳
会社役員、金ヶ崎町永栄在、入会理由一有住氏の紹介により。有住氏の義兄。1会員(A) 1口

第29号 小関 浩喜 (Kouki Koseki) 67歳
農業、金ヶ崎町三ヶ尻在、前三ヶ尻鹿踊り庭元。ブラジル訪問は県人会創立40周年と45周年に出席。県人会40周年に芸能使節として鹿踊りを披露。会員(A) 1口

第30号 小関 新喜 (Shinki Koseki) 64歳
農業 金ヶ崎町東畑在、三ヶ尻鹿踊り庭元。金ヶ崎町議会議員(3期目)。会員(A) 1口

第31号 渡辺 勉 (Tsutomu Watanabe) 74歳
農業、金ヶ崎町三ヶ尻荒巻在、入会理由一親戚がいる。渡辺美智子、故及川安平、及川信子など。故渡辺栄喜さんの実家。会員(A) 1口

第32号 高橋 忠男 (Tadao takahashi) 72歳
無職、金ヶ崎町三ヶ尻在、入会理由一三ヶ尻地区生涯教育センター所長。ブラジル・パラグアイからの留研生と交流を行っている。会員(A) 1口

氏は有住氏がブラジル紹介の本3冊出版にあたり構成・編集と携わっている。

第33号 田口 忠 (Tadashi Taguchi) 71歳
農業、金ヶ崎町西根在、入会理由一親戚がいる。田口信二氏親族一同。会員(A) 1口

第34号 及川 敏勝 (Toshikatsu Oikawa) 57歳
会社員、水沢市中上野町在、入会理由一国際交流と有住氏紹介で義弟になる。会員(A) 1口

第35号 千田 良子 (Yoshiko Chida) 83歳
無職、金ヶ崎町六原在、入会理由一親戚がいる。故及川安平一族。県人会創立45周年に出席。県人会50周年に再渡伯検討中。会員(A) 1口

第36号 桑島 治任 (Haruhito Kuwashima) 57歳
教員、入会理由一親族がいる。及川信子、渡辺美智子など。50周年に渡伯検討中。会員(A) 1口
※ サンパウロ案内は、紙面の都合で休みます。

岩手日報「ブラジル県人会 賛助会員募集」と報道

県人会では広く母県皆様と交流をと岩手日報こずかたセンター社長大志田諭氏(県人会賛助会員第13号)に記事をお願いしておりました。氏は本社常務の宮森淳博氏へ応援をお願いしその記事が7月18日付きで報道されました。お蔭様で20日大志田氏より下記のうれしいお知らせがありました。

ブラジル岩手県人会 賛助会員は、日本がブ
(千田曠暁会長、サンパ ラジルでの同県人会支援
ワロ市)は、同会の活動 事業への参加、ブラジル
を支援する賛助会員を募 訪問に関する情報サービ
集している。 べる。賛助会費は親睦活
本県からの移住者の留 動や会報発行、交流事業
守家族やブラジルで専門 などに使われる。
分野の研修を希望する県 ス、アドバイス、県人会 申し込みや会費振り込
人学生、ブラジルへのシ 会報などの刊行物の入手 ムページ(<http://www.wivate.org.br>)で
ルバー年金移住を考えて 入会費は二千元。年会 閲覧できます。

【真夏間近と云うのに、日本列島の北部地帯には梅雨前線が居座り、新潟、福井、会津などは思わぬ豪雨禍に見舞われております。岩手は幸い洪水被害もありませんが連日の長雨で、異常気象を実感せずにはおられません。

さて遅くなりましたが、貴県人会「賛助会員募集」記事が日報紙上で報道されましたので送信致します。今後の反応等お役に立てればと願っております。】

県人会の動き(7月)

- 1日 ※ 菅原圓雄氏より会報受領のハガキあり。
※ 七夕飾付作業。※ 留研生会に会場提供。
- 2日 金ヶ崎町より子供たちの絵画習字など届く。
※ 金ヶ崎の有住氏より賛助会員の住所録受信。

- ※ 会報 118号編集終了、印刷所に依頼。
- ※ リオ在住の菊地英二さん死亡の通知あり。
- ※ 北海道協会で行われた東北演芸祭実行委員会に千田会長、昆野 リントン君、阿部アリス君出席。
- 5日 高橋金ヶ崎町長宛書画受領の礼状発信。
- ※ 岩手日報宮森常務、同こずかたセンター大志田社長へお願い文書発信。
- 6日 国際交流協会勤務の高橋量平氏の賛助会員申込書受信。またベレンの山中会長ご夫妻が協会を訪問され和美常務と懇談された、元副知事夫人増田稲子さん2箱、賛助会員一戸和氏よりゴルフ1箱 図書の寄贈があり近く国際課より発送があるとのFAXあり。※ 日本まつり委員会に千田会長、高橋加次さん、州PMのマジョール 田口さん出席。
- ※ 金丸丸漁労長の森氏より連絡事項と次回入港は8月22日のメール。※ 金ヶ崎町役場の千葉由佳里さんより児童作品展（日本まつり）の写真をお願いするとメールあり。
- 8日 会報 118号ニックグラフィックより届く。会報発送を藤村さん、小金丸さん、山道夫人など手伝う。
- ※ 会報を会員、コリア関係、海外県人会、母県庁関係、賛助会員、県家族会会員などへ530通発送。
- 10日 定例役員会開催 自衛隊歓迎、日本まつり、高齢者懇親会、和泊 温泉旅行、定款改正など。
- ※ 第26回仙台七夕開催 七夕作品審査員として会長参加。※ 婦人部作品は特別賞2位を獲得。



- 12日 国際交流協会高橋量平氏より14名分の賛助会員申込書郵送あり。
- 13日 交流協会高橋氏へ近況と申込書受領のFAX発信。※ 佐々木まり子さんよりビデオ受領と日本の友人40人程にブラジル県人会賛助会員制度について知らせたとメールあり。※ 県連日本まつり委員会へ千田会長、高橋カルロスさん出席。
- 14日 定款改正特別役員会の通知発送。
- 15日 練習艦隊「かとり」東郷司令官、サンパウロ総領事招待艦上レセプションへ千田会長夫妻出席。※ 藤村副会長はVTR取材の畑氏をモジ市在菊地達郎宅へ案内。石井さん同行。
- 16日 JICAボランティア及川さおりさん、自衛艦取材の畑氏を藤村副会長が案内。
- 17日 文化協会で行われた練習艦隊乗員歓迎式典に役員など数名出席。※ 練習艦隊「かとり」小林磨首席幕僚など6名と同艦広報かマツ(長崎出身)を迎え歓迎懇親会を行う。60名位出席。
- 19日 鈴木善幸元首相逝去の報あり(93歳)
- ※ 県国際交流協会高橋氏へ故鈴木氏への弔電お願いを発信。
- 20日 県国際課三上氏より県費留学生、海外技術研修員の派遣希望調査、元留研生現状調査表などの

送信あり。※ 有住氏より連絡事項と移住者消息についてのFAX受信。※ 賛助会員大志田諭氏より岩手日報に記載された「賛助会員募集」記事の受信。※ 県連日本まつりへ委員会へ千田会長高橋カルロスさん出席。

- 21日 岩手日報宮森常務、こずかたセンター大志田社長に新聞記事報道への礼状発信。
- 22日 日本まつり会場へ一部必要品を運ぶ。
- ※ 県国際交流協会高橋氏より、故鈴木元首相への弔電を葬儀に間に合うよう送ったとFAXあり。
- 23日 正午より第7回日本まつり開催される。
- ※ 日本まつりへ出店する餅搗きその他の準備を行う。※ 高齢者懇親会、和泊 温泉旅行、留研生募集などのお知らせを会員へ発送。
- 24日 早朝出店品や用具を会場へ持込む。午前10時頃には準備完了し餅つきを開始。役員婦人青年など多くの協力者あり。昨年より入出が多いとの評。



- 25日 白餅、餅料理昨日と同様早めに売り切れる。
- 27日 婦人部主催にてヤクルト工場を見学。※ 第7回日本まつり大成功で45万人と入場者の記事。
- ※ 有住氏よりFAX受信。※ 岩手日報、県国際課、県交流協会、金ヶ崎町、吉田氏、吉田恭子さん、有住氏などへ日本まつり記事を送信。
- 28日 賛助会員菅原圓雄氏より、7月の会報受領と近況などと前副知事高橋洋介氏より、賛助会員要領の問い合わせがあったとの手紙受信。
- ※ 金ヶ崎町役所へ日本まつり写真を電送。
- 30日 田中婦人部長七夕飾り入賞式へ出席。
- ※ 金ヶ崎町企画調整係主査、千葉由佳里さんより報道記事、写真受信の連絡あり。

会費納入者名 (敬称略)

平尾 宏子、野崎 勝敏、菊地 義治、多田 文子
井貝 スマ子、千田 輝海、
以上6名 累計 163名

寄付 寄贈

平尾 健 様 プロポリス ジアマンテ 6個
プロポリス スプレイ 6個

県人会で自衛隊員に注文したところ、隊員さんの健康を祈ってと平尾氏(北海道出身で岩手農大を卒業、平尾宏子さんのご主人)に寄贈頂きました。

◎「見れる」「読める」「伝える」と会報作りに取り組んでおります。皆様のご意見をお願いします。
★ 会報 118号の誤字 (金) ⇒ (土)、際 ⇒ 祭、勝義 ⇒ 勝喜、魚 ⇒ 肴でした。